

レジデンシャル事業（Noism Company Niigata）19 thシーズン～21 stシーズン 3年間評価書（令和4年9月～令和7年8月）

【評 価】 A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
C：要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

事業・活動	指標（アウトカム発現の裏付）	19th		20th		21st		3年間の 評価推移
		実績	評価	実績	評価	実績	評価	
文化度向上系 ・Noism公演（市内） ・Noism公演（市外） ・Noism公演映像配信 ・柳都会（対談企画） ・他団体依頼公演等 ・ダンスカンパニー運営 ・Noism 2 他 【アウトカム(最終)】 「芸術文化の継承・発 展・創造・発信・交 流」が盛んに行われ ている	1：Noism O, 1, 2新潟公演企画数【3企画以上／年】	3企画	B	3企画	B	3企画	B	B B B ・→→
	2：Noism O, 1, 2新潟公演の来場者数 【3,235人以上／年】	3,299人	B	3,678人	A	2,937人	C	B A C ・↗↘
	3：Noism O, 1, 2新潟公演の満足度 【95%以上】	96.5%	B	96.6%	B	99.2%	A	B B A ・→↗
	4：Noism O, 1, 2県外公演企画数【2企画以上／年】	2企画	B	2企画	B	2企画	B	B B B ・→→
	5：Noism O, 1, 2新潟&県外公演の新規来場者率【10%以上】	26% ※ 県外1企画分 のみの計測に 付、参考値	---	25.5% ※ 3企画のうち 1企画分のみ の計測に付、 参考値	---	21.5%	A	--A
	6：柳都会実施数【2回以上／年】	2回	B	2回	B	1回	C	B B C ・→↘
	7：金森穰氏（Noism芸術総監督）以外の振付家の招聘 【1回以上／年】	1回	B	1回	B	3回	A	B B A ・→↗
	8：レクチャー系講座実施【3回以上/年】 ※公演時のアフタートークにおける公演解説を含む	8回	A	8回	A	8回	A	A A A ・→→
	9：他団体との連携企画数（共催・受託等） 【3回以上／年】	5回	A	9回	A	6回	A	A A A ・→→
社会包摂系 ・他団体依頼公演等 （再掲） ・アウトリーチ ・ワークショップ& オープンクラス 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・ 障がい者等）が生きや すいまち・社会」にな っている	10：小中学校向けアウトリーチ実施数【10回以上／年】	22回	A	19回	A	23回	A	A A A ・→→
	11：ワークショップ実施数【3回以上／年】	17回	A	8回	A	8回	A	A A A ・→→
	12：アウトリーチ参加者満足度【95%以上】	98.0%	A	98.5%	A	96.8%	A	A A A ・→→
生きがい創出系 ・オープンクラス& スクール ・活動支援&寄付会員 獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・ 障がい者等）が生きや すいまち・社会」にな っている	13：スクール実施数【2企画以上／年】	2企画	B	2企画	B	1企画	C	B B C ・→↘
	14：オープンクラス実施数【3企画以上／年】 ※一般市民向け（バレー・からだ大人・からだ子供・ レバートリー等）	3企画	B	3企画	B	3企画	B	B B B ・→→
	15：オープンクラス参加者満足度【95%以上】	100.0%	A	99.5%	A	100%	A	A A A ・→→
	16：活動支援会員数【103人以上／年】	109人	B	106人	B	106人	B	B B B ・→→

生きがい創出系 ・オープンクラス&スクール ・活動支援&寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 前頁記載のとおり	17：16のうち、市内在住者数【48人以上／年】	57人	A	56人	A	54人	A	AAA ・→→
	18：寄付会員数【21人以上／年】	26人	A	103人	A	27人	A	AAA ・→→
	19：18のうち、市内在住者数【11人以上／年】	11人	B	50人	A	11人	B	BAB ・↗↘
文化度向上系 同上 【アウトカム(最終)】 芸術文化が「まちづくり (観光・国際交流・経済等)」に寄与している	【再掲】4：Noism O, 1, 2 県外公演数【2回以上／年】	2回	B	2企画	B	2企画	B	BBB ・→→
	【再掲】9：他団体との連携企画数（共催・受託等） 【3回以上／年】	5回	A	9回	A	6回	A	AAA ・→→
	20：新潟公演の市外者来場率【10%以上】	16.8%	A	25.0%	A	22.3%	A	AAA ・→→

3年間（19 thシーズン～21 stシーズン）総合所見 ※経年変化に着目	
財団（自己評価）	・19→20シーズンは【A評価が2つ増え、応じてB評価が2つ減り、C評価はなし】と良化している。20→21シーズンは【A評価が1つ増え、応じて評価不能がOとなるが、C評価が3つ増え、応じてB評価が3つ減】とやや悪化している。C評価のうち2つは指標6（柳都会）と13（スクール）であり、事業実施方針の変更がC評価につながっているため評価指標を意識したうえで芸術監督との意思疎通に努めていく。もう1つは指標2（来場者数、指標値3,235人はコロナ禍前の15シーズン実績値）であり、22ndシーズンは公演日程の変更により公演回数増と学校貸切公演の実現を図り、改善に努める。 19シーズン【A評価：9指標、B評価：10指標、C評価：0指標、評価不能：1指標】 20シーズン【A評価：11指標、B評価：8指標、C評価：0指標、評価不能：1指標】 21シーズン【A評価：12指標、B評価：5指標、C評価：3指標、評価不能：0指標】 ・国際活動部門、地域活動部門ともに、設立から3年間、各芸術監督のもと、充実した活動を行うことができた。特に地域活動部門においては、小中学校向けアウトリーチの実施数（指標10）は3年間を通じて指標の2倍前後で参加者の満足度（指標12）も非常に高く、加えてワークショップの実施数（指標11）も3年間を通じて指標の2倍超えているうえ、障がい者向けワークショップを含むなど積極的に活動し、地域貢献と共に市民から認知され支持を得ることができた。 ・20周年記念公演は、Noismの20年間を想起させる演出に、ご自身の人生を重ね合わせた感慨を寄せられる方も多く、Noismのこの20年の積み重ねが市民との関係性を築くことを可能とならしめた。 ・20周年に際し実施した、寄付およびクラウドファンディングには、県内外の多くの方からご賛同いただいた。クラウドファンディングのコメント欄には、「Noism は日本の舞台芸術界の至宝であり希望」「Noismの舞台を観ると生きることを実感」「新潟に世界に誇れる芸術があることに感謝」「Noismが新潟にあることで、人生が豊かになった」「新潟にNoismが存在することが自慢」など、「新潟から世界へ」活動していることに対しての敬意と応援の言葉で溢れた。
新潟市（意見）	レジデンシャル制度の目標の実現に向けた取組に基づき意見する。 ・「りゅーとびあ及び新潟市のプレゼンスの向上」について 新潟及び県外での定期公演のほか、他団体への振り付けやイベント等への出演などを行い、鑑賞者の高い満足度を得るだけでなく、多くのメディアに取り上げられ、地方都市から「質の高い舞台芸術の創造・発信」を行ったことを評価する。「本市独自の多様な文化を活用」という点では、舞台演出に新潟の風景を取り入れるなどの工夫を行っているが、評価に表れていないと思われる。さらに本市独自の多様な文化を活用するよう積極的な取組を期待する。 ・「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」について 小・中学校向けのアウトリーチを精力的に行ったほか、障がい者向けワークショップなども実施し、「市民や地元の様々な団体等との交流・連携」に取り組んだ。あわせて、高校や大学へのスクールやオープンクラスを実施し、参加者の満足度も高いという評価を得ていることから、「舞台芸術の普及・啓発・人材の育成」につながっていることを評価する。また、アウトリーチを通じた新たな来場者を増やす取組についても評価する。新潟公演の来場者数について、21シーズン目に目標を達成できなかったことから、22シーズンでは、夏公演の日程変更など来場者の増加に向けた新たな取組に期待する。 ・「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取り組みの波及」について 毎年県外劇場での公演や他都市イベント等への招聘などにより、「国内他館との協力関係の構築」に取り組んでいることを評価する。「舞台芸術にかかわる本市のクリエイティブ人材の活用」については、評価に表れていないと思われるため、地域で活動する様々な人材等に創造活動へのかかわりが生まれ、それらの方々の成長・発展につながるように活用を計画いただきたい。 以上、レジデンシャル制度制定時の目標実現については、高く評価する点が多いことから、今後も目標実現に向けた事業を計画し、実施されることを期待する。
外部有識者（意見）	・「新潟にNoismが存在することが自慢」などの言葉が発せられていること自体が評価に値すると思う。 ・エピソード評価はすごく難しい指標。ちょっとした日々の変化の中で「Noismのあの公演がこんな風に自分にとって意味があったんだな」と気付けるような、そういうことを評価軸として拾い上げられたら良いと思う。 ・芸術の評価は数値だけが独り歩きしやすく、数値の評価を持っていることは公の機関としては強みになるため追いかけがち。しかしながら、人が生きる上でふとした瞬間に得る気付き、ある時よみがえる記憶など、些細な点のような事柄がつながって線になることができれば、エピソード評価こそが強みになる。エピソード評価に取り組むことは生半可なことではないが、出来る範囲でお願いしたい。 ・指標を決めて目標がどう実現できたかを、この3年間ちゃんと測ってきたが、その一方で、目標を実現できた上でどういう成果があがったか、どういう効果があったのかという次のステージでの評価をしなければならない、定量的な評価から定性的な評価へ移行する段階にきている。 ・この3年間の評価活動について、Noism Company Niigataから見るとやや義務寄りの部分が多かったように思う。税金を投入して実施する事業であるからには正当な義務だが、それとは別の視点で、よりクリエイティブなチャレンジに関する部分があっても良いのではないか。義務の部分を含め粛々と達成するべき目標と並行して、クリエイティブ面での更なる高みを目指すような指標が次のシーズンからはあっても良いように思う。 ・社会包摂系の取り組みが非常に良い。芸術というものが色々なものとの繋がり、特に教育や心身の成長など、多様な人が社会の中で舞踊を通じて繋がりを有するというのは非常に良い取り組み。これは本当に単なる文化やそういったものに限らないものになっている点で非常に高い評価、指標ひとつひとつにあらわれるものより高い評価になる。



反映

3年間（19 thシーズン～21 stシーズン）総合評価（事業評価） ※3年間での達成度合に着目
レジデンシャル制度目標①・方針①（対応する事業・活動：上表「文化度向上系」） ・19thシーズン：全ての指標を達成 ・20thシーズン：全ての指標を達成 ・21stシーズン：10指標中8指標を達成（1指標は事業改良の結果、指標を下回った） という経年変化であり、方針①「質の高い舞台芸術作品の創造・発信」を実践し、目標①「りゅーとびあ及び新潟市のプレゼンス向上」を概ね達成することができた。 レジデンシャル制度目標②・方針②（対応する事業・活動：上表「社会包摂系」「生きがい創出系」） ・19thシーズン：全ての指標を達成 ・20thシーズン：全ての指標を達成 ・21stシーズン：10指標中9指標を達成（1指標は事業改良の結果、指標を下回った） という経年変化であり、方針②「市民や地元の様々な団体等との交流・連携」「舞台芸術の普及・啓発・人材の育成」を実践し、目標②「市民の文化芸術活動への支援と新たな鑑賞者の増加」を概ね達成することができた。 レジデンシャル制度目標③・方針③（対応する事業・活動：上表「文化度向上系」） ・19thシーズン：全ての指標を達成 ・20thシーズン：全ての指標を達成 ・21stシーズン：10指標中8指標を達成（1指標は事業改良の結果、指標を下回った） という経年変化であり、方針③「国内他館との協力関係の構築」「舞台芸術に携わる本市のクリエイティブ人材等の活用（衣裳デザインやNoism2公演におけるチラシ）」を実践し、目標③「地方都市から舞台芸術を創造・発信する取り組みの波及」を概ね達成することができた。 総合所見欄で新潟市から意見をいただいている「本市のクリエイティブ人材の活用」を測る指標の設定、外部有識者から意見をいただいている「定量的な評価から定性的な評価へ移行すべき」等を踏まえて、次期シーズン以降は指標の見直しの検討を行い「成果をより的確に見える化する」ことに努めたい。